

村田浩 アンド ザ・バップ・バンド
Hiroshi Murata
&
THE BOP BAND

村田 浩 (LEADER, TRUMPET)
岡田 嘉満 (T. SAX)
松本 全芸 (PIANO)
矢野 伸行 (BASS)
宮岡 慶太 (DRUMS)



Band Profile

我が国を代表するベテラン“バップトランペッター”村田浩が率いる、我が国唯一のレギュラー編成による本格的実力派ハードバップバンド。メンバー各人の素晴らしい技量と豊かな音楽性によるこのグループの演奏は、非常に高い水準を保っており、常にスリルに富みエキサイティングで、その上暖かくハッピーである。

結成以来通算35年間で99回のライブツアーを経て、全国的に多くのファンから支持されており、常に安定した人気を保っている。特に1985年以降の活動は目覚ましく、その行動範囲はまさに全国に及び、25年間連続ツアーの九州、24年間連続の四国はもとより、北海道・沖縄まで圧倒的な人気を得ている。

結成当初より、このバンドには将来性豊かな若手 実力派のベテランプレイヤーが在団した。従って、メンバーの個人的な人気も非常に高い。その代表的なプレイヤーを列举すれば、
<1975 ~ 1989> 田村博(Pf) 故: 菊池秀行(As) 吉岡秀晃(Pf)
<1990 ~ 2009> 多田誠司(As) 袴塚淳(pf) 荒巻茂生(B) 中村健(Ds) 島田剛(B)
小濱安浩(Ts) 澤田一範(As) などである。

1992年3月に発表した初のアルバム『The Blues Walk』、1997年11月に発売した2枚目『FUNKS ONE』は、専門家、評論家、ライブハウスオーナー、一般ジャズファンから圧倒的に高い評価を受け、共に日本ジャズ賞の候補作品として選出された。『The Blues Walk』は、香港・シンガポールを始めとする東南アジア全域と、オーストラリア、ニュージーランド、全米及びカナダで発売されている。また1999年には『The Blues Walk』が最新の音響技術によりリメイクされ『Groovy and Mellow』として発売された。これも大好評を得ている。そして2002年6月に発売した3枚目『be “BOP”』は、このバンドの強烈な個性と、メンバー各人の圧倒的な力量を充分に発揮した素晴らしいものとなった。結成30年となった、2005年6月に発売した4枚目のアルバム『STRAIGHT AHEAD』は、このバンドの実力と魅力を増々発揮した作品として、高い評価を得ている。

結成35年を期にメンバーを一新したこのバンドは、その音楽的スケールを一層大きくし、「主流派」としてより重要な存在の、より本格的な“ハードバップバンド”として周囲から熱い期待を集めており、ライブに、コンサートに、ツアーに、そして放送に、充実した活動を展開している。現在、新メンバーによる CD制作も決定し、その準備を本格的に始めたところである。

2010年1月

<http://www.sns.ne.jp/bopband/>

Profile

村田 浩 (リーダー、トランペット)

1943年 横浜市出身。高校、大学では吹奏楽部で活動。卒業後1967年プロデビュー。1975年2月に渡辺貞夫(As)オーケストラ、5月に八城一夫(Pf)5に参加。そして7月に自己のクインテット『THE BOP BAND』を結成。以後35年間一貫して全国にライブ・コンサート活動を続けており、現在まで約99回のツアー、約5000回のライブ・コンサート活動を通じて安定した人気を得ている。この間、ジョン・ルイス(Pf)、ジュニア・マンズ(Pf)、デューク・ジョーダン(Pf)、ロイ・ヘインズ(Ds)、リッチー・コール(As)、ヘレン・メリル(Vo)、アニタ・オディ(Vo)、他内外のトップアーティストと共演多数。また、自身は専門誌の人気投票に常にランクされるなど、個人的にも安定した人気を保っている。過去4枚のリーダーアルバムを発表、いずれも高い評価を得ている。

岡田嘉満 (テナー・サクソ)

1972年 栃木県出身。幼少よりピアノを、高校でベース、クラリネットを演奏する。大学入学後ビッグバンドでサクソを始め、ジャズの演奏活動始める。卒業後、本格的な演奏活動を始め、多くの若手との共演を経て現在に至る。2010年1月より『THE BOP BAND』に参加。現在はこの他、自己のカルテットを中心活動する。後進の指導に情熱を傾けており、また地元栃木のジャズの発展にも力を注いでいる。そのスケールの大きなプレイは、本格的な「ハードバップテナーマン」としての期待度抜群の超有望株である。
2001年 横浜ジャズプロムナード コンペティション ベストプレイヤーズ賞受賞
2006年 1月 初のリーダーアルバム『スウィングン』発表。

松本全芸 (ピアノ)

1963年 神奈川県出身。高校時代に聴いたアルバムから大きな刺激を受けジャズに関心を持つ。大学でジャズ研究会に属し、本格的に演奏活動始める。卒業後スカラシップを得、バークリー音楽大学ピアノ科に留学。ハーブ・ホメロイ、ビル・ピアス、ハル・クルック、ジョージ・ガズーン等と共演。1992年帰国後、ジョージ大塚(Ds)他多くの実力派と共演。2002年『THE BOP BAND』に参加。現在は『THE BOP BAND』の他に自己のトリオ、日本で最古参の名門ビッグバンド『ニューハードオーケストラ』にも参加。着実に人気を高めつつある期待の実力派。
2009年 11月 初のリーダーアルバム『ECHO OF THE WAVE』を発表し 好評を得ている。

矢野伸行 (ベース)

1968年 栃木県出身。大学でジャズの演奏活動を始め、卒業後プロデビュー。多くの若手セッション・ライブを重ねた後、2002年秋に『THE BOP BAND』に参加。全国の演奏活動始める。オーソドックスなスタイルでスケールの大きなそのプレイは、多くのリーダーから信頼を集め 共演を望まれる 本格的実力派。着実に人気を高めつつある。

宮岡慶太 (ドラムス)

1973年 神奈川県出身。大学でジャズの演奏活動始める。卒業後プロデビュー。本格的な演奏を始め、多くの若手セッションライブを重ねる。2002年に『THE BOP BAND』に参加。全国的な演奏活動始める。4年間の全国的な活動を通じて目ざましい成長をとげ、全国のリスナー、オーナーから注目を集めている、期待度抜群の実力派。